

# 平成24年度東京学芸大学附属学校 現職教員研修講座

東京学芸大学の各附属学校では、現職教員等を対象とした講座、研究会、セミナー等を毎年開催しています。このパンフレットは、これらの情報を集約して掲載したもので、広く現職教員の研修等に利用していただければと思います。

なお、本パンフレットを発行する段階では、講座等の開催日時等が未定のものがありますが、決定次第、各附属学校のホームページに掲載する予定です。

また、本パンフレットに掲載されていない講座等についても、実施が決定した段階で、各附属学校のホームページに掲載する予定ですので、次のアドレスにアクセス願います。

地区	学校名	URL・住所	電話番号 (FAX番号)
世田谷地区	附属世田谷小学校	<a href="http://www.setagaya-es.u-gakugei.ac.jp/">http://www.setagaya-es.u-gakugei.ac.jp/</a>	03-5706-2131 (2144)
		〒158-0081 東京都世田谷区深沢4-10-1	
	附属世田谷中学校	<a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~setachu/index.html">http://www.u-gakugei.ac.jp/~setachu/index.html</a>	03-5706-3301 (3340)
		〒158-0081 東京都世田谷区深沢4-3-1	
	附属高等学校	<a href="http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/">http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/</a>	03-3421-5151 (5152)
		〒154-0002 東京都世田谷区下馬4-1-5	
小金井地区	附属小金井小学校	<a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~kanesyoy/">http://www.u-gakugei.ac.jp/~kanesyoy/</a>	042-329-7825 (7826)
		〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1	
	附属小金井中学校	<a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~gkoganei/index.htm">http://www.u-gakugei.ac.jp/~gkoganei/index.htm</a>	042-329-7833 (7834)
		〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1	
	附属幼稚園 小金井園舎	<a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~kinder/">http://www.u-gakugei.ac.jp/~kinder/</a>	042-329-7812 (7814)
		〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1	
大泉地区	附属大泉小学校	<a href="http://www.es.oizumi.u-gakugei.ac.jp/">http://www.es.oizumi.u-gakugei.ac.jp/</a>	03-5905-0200 (0209)
		〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-22-1	
	附属国際中等 教育学校	<a href="http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp/">http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp/</a>	03-5905-1326 (0317)
		〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-22-1	
竹早地区	附属竹早小学校	<a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~takesyoy/">http://www.u-gakugei.ac.jp/~takesyoy/</a>	03-3816-8941 (8945)
		〒112-0002 東京都文京区小石川4-2-1	
	附属竹早中学校	<a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~takechu/">http://www.u-gakugei.ac.jp/~takechu/</a>	03-3816-8601 (8605)
		〒112-0002 東京都文京区小石川4-2-1	
東久留米地区	附属特別支援学校	<a href="http://ns.yougo.u-gakugei.ac.jp/">http://ns.yougo.u-gakugei.ac.jp/</a>	042-471-5274 (5275)
		〒203-0004 東京都東久留米市氷川台1-6-1	

※申し込み方法・内容等のお問い合わせは、直接、各附属学校の担当にお願いします。

講座・研修会等名称	公開保育検討会 / 地域公開研究会
場 所	附属幼稚園小金井園舎
担 当 者 (所属・連絡先)	山崎奈美 (附属幼稚園・042-329-7812)
実施日時	平成24年12月8日 (土) / 【地域公開】平成25年1月25日 (金)
募集期間	未定
対 象 者	現職教員 (幼稚園教諭・保育士・小学校教諭)、大学教員、学生
定 員	100名程度 / 【地域公開】20名程度
主な内容と方法	<p>テーマ「今日から明日へつながる保育—保育記録を考える—」</p> <p>幼稚園教育においては、幼児一人一人の発達の特徴を理解し、発達の課題に応じた指導をすることが大切であるとされています。そのために、教師は一人一人の幼児を理解し、それに基づいて計画的に環境を構成するとともに、自らの保育を反省し、見直していくことが求められます。これらの実現に向けて、最近では保育記録の重要性が見直されています。</p> <p>そこで本研究では、幼児が体験を重ねる中で、今日から明日へとつないでいくような保育を営むためには、保育記録から翌日の保育を計画することが大切であるという前提のもと、保育記録について考えていくことにしました。検討会当日は、幼児の発達に応じた記録形式の提案や、教員同士が取り合った記録をもとにした研究会の在り方の提案について、保育公開とともに進めていきます。</p> <p>また地域公開研究会では、地域の幼稚園教諭、保育士と共に保育内容等について意見交換しながら、幼児教育の現代課題や対応について共有していきます。</p>
費 用	資料代として300円～500円程度
備 考	各申し込みは園のホームページ参照の上、手続きをお願いします。

講座・研修会等名称	平成24年度 東京学芸大学附属大泉小学校公開研究発表会
場 所	東京学芸大学附属大泉小学校
担 当 者 (所属・連絡先)	主幹 細井宏一 【連絡先】東京学芸大学附属大泉小学校 〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-22-1 TEL:03-5905-0200
実施日時	平成25年1月25日(金)(予定)
募集期間	特に設定せず
対 象 者	特に設定せず
定 員	なし
主な内容と方法	公開研究発表会 研究テーマ 「グローバル社会に生きる力をはぐくむ」 ～世界から信頼され活躍していこうとする子どもの育成～<予定>
費 用	2,000円(資料代)
備 考	

講座・研修会等名称	第18回英語科現職教員研修セミナー
場 所	東京学芸大学附属世田谷中学校 MM教室 (東京都世田谷区深沢4-3-1) <a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~setachu/">http://www.u-gakugei.ac.jp/~setachu/</a>
担 当 者 (所属・連絡先)	申し込みの際して不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。 附属世田谷中学校英語科 TEL:03-5706-3301 FAX:03-5706-3340 awaji@u-gakugei.ac.jp 淡路佳昌
実施日時	2012(平成24)年8月 10:00～16:30
募集期間	下記HPにて直前まで受け付けております。 <a href="http://seminar.sechu.net/">http://seminar.sechu.net/</a>
対 象 者	英語現職教員、学生・院生、教育関係者
定 員	40名(先着順)
主な内容と方法	9:30～ 受付 10:00～ 開始 内容:英語指導に関するディスカッションおよび情報交換、授業で役立つワークショップ、他 ※詳細は後日申し込みサイトに掲載します。 <a href="http://seminar.sechu.net/">http://seminar.sechu.net/</a> 話題提供者 青柳有季、淡路佳昌、市林竜 指導助言 金谷 憲 先生(東京学芸大学)
費 用	参加費無料です。
備 考	ご希望があれば、昼食をお取りします。みなさんと一緒にランチタイムを過ごすことができると思っています。できましたら、事前にお申し込みください。

講座・研修会等名称	夏季現職セミナー(附属世田谷小学校・中学校合同研修会)
場 所	東京学芸大学附属世田谷中学校(世田谷区深沢4-3-1)
担 当 者 (所属・連絡先)	東京学芸大学附属世田谷中学校 国語科 渡邊 裕 東京学芸大学附属世田谷小学校 国語部 TEL:03-5706-3301(附属世田谷中学校) FAX:03-5706-3340(附属世田谷中学校) E-mail:wtnb530@u-gakugei.ac.jp
実施日時	8月下旬(日時等詳細は決定次第HPに掲載します)
募集期間	1週間前までに、メールまたはFAXでご氏名と所属をお知らせ下さい。
対 象 者	現職教員、教員養成系大学院生、学部生、教育関係者
定 員	40名程度
主な内容と方法	教師力向上に関連する公演・講義・演習等
費 用	未定(資料代として実費をいただきます)
備 考	

講座・研修会等名称	もっと理科を知りたい先生のための研修会
場 所	附属世田谷中学校理科室
担 当 者 (所属・連絡先)	附属世田谷中学校理科教員、附属世田谷小学校理科担当教員
実施日時	2012年8月下旬
募集期間	実施日の1週間くらい前まで
対 象 者	現職教員、教員養成系大学院生、学部生、教育関係者
定 員	約30
主な内容与方法	研究授業、講演ワークショップ等詳細は未定
費 用	無料
備 考	

講座・研修会等名称	数学的活動を通じた授業づくりを考える
場 所	東京学芸大学附属世田谷中学校（世田谷区深沢4-3-1）
担 当 者 (所属・連絡先)	東京学芸大学附属世田谷中学校 数学科 羽住 邦男 傍士 輝彦 鈴木 誠 東京学芸大学附属教育実践研究支援センター 教育実習指導部門 矢嶋 昭雄 TEL：03-5706-3301（東京学芸大学附属世田谷中学校） FAX：03-5706-3340（〃） E-mail：m-suzuki@u-gakugei.ac.jp（東京学芸大学附属世田谷中学校 鈴木宛）
実施日時	平成24年9月 10：00～15：30
募集期間	一週間前までにご連絡ください（メールまたはFAXをお願いします）
対 象 者	現職教員、教員養成系大学院生、学部生、教育関係者
定 員	40名程度
主な内容与方法	数学的活動を取り入れた指導についての実践報告と実習 外部講師講義（予定） 意見交換 等
費 用	無料
備 考	・今後適時学校ホームページにて情報を提供させていただくこともあります。ご確認下さい。 東京学芸大学附属世田谷中学校 <a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~setachu/">http://www.u-gakugei.ac.jp/~setachu/</a> ・近隣には、昼食場所があまりありません。昼食を持参されることをお勧めします。

講座・研修会等名称	数学的活動を通じた授業づくりを考える
場 所	東京学芸大学附属世田谷中学校（世田谷区深沢4-3-1）
担 当 者 (所属・連絡先)	東京学芸大学附属世田谷中学校 数学科 羽住 邦男 傍土 輝彦 鈴木 誠 東京学芸大学附属教育実践研究支援センター 教育実習指導部門 矢嶋 昭雄 TEL：03-5706-3301（東京学芸大学附属世田谷中学校） FAX：03-5706-3340（ E-mail：m-suzuki@u-gakugei.ac.jp（東京学芸大学附属世田谷中学校 鈴木宛）
実施日時	平成25年3月 10：00～15：30
募集期間	一週間前までにご連絡ください（メールまたはFAXをお願いします）
対 象 者	現職教員、教員養成系大学院生、学部生、教育関係者
定 員	40名程度
主な内容と方法	数学的活動を取り入れた指導についての実践報告と実習 外部講師講義（予定） 意見交換 等
費 用	無料
備 考	・今後適時学校ホームページにて情報を提供させていただくこともあります。ご確認ください。 東京学芸大学附属世田谷中学校 <a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~setachu/">http://www.u-gakugei.ac.jp/~setachu/</a> ・近隣には、昼食場所があまりありません。昼食を持参されることをお勧めします。

講座・研修会等名称	第18回英語科現職教員研修セミナー
場 所	東京学芸大学附属世田谷中学校 MM教室（東京都世田谷区深沢4-3-1） <a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~setachu/">http://www.u-gakugei.ac.jp/~setachu/</a>
担 当 者 (所属・連絡先)	申し込みの際して不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。 附属世田谷中学校英語科 TEL：03-5706-3301 FAX：03-5706-3340 awaji@u-gakugei.ac.jp 淡路佳昌
実施日時	2013（平成25）年3月 10：00～16：30
募集期間	下記HPにて直前まで受け付けております。 <a href="http://seminar.sechu.net/">http://seminar.sechu.net/</a>
対 象 者	英語現職教員、学生・院生、教育関係者
定 員	40名（先着順）
主な内容と方法	9：30 受付 10：00 開始 内容：英語指導に関するディスカッションおよび情報交換、授業で役立つワークショップ、他 ※詳細は後日申し込みサイトに掲載します。 <a href="http://seminar.sechu.net/">http://seminar.sechu.net/</a> 話題提供者 青柳有季、淡路佳昌、市林竜 指導助言 金谷 憲 先生（東京学芸大学）
費 用	参加費無料です。
備 考	ご希望があれば、昼食をお取りします。みなさんと一緒にランチタイムを過ごすことができると思っています。できましたら、事前にお申し込みください。

講座・研修会等名称	2012年度公開授業研究会
場 所	東京学芸大学附属小金井中学校
担 当 者 (所属・連絡先)	平田博嗣（東京学芸大学附属小金井中学校・042-329-7833）
実施日時	2012年11月17日（土）
募集期間	前日まで
対 象 者	現職教員、大学教員、大学生、研究機関研究員等
定 員	なし
主な内容と方法	研究主題「生徒一人ひとりを、学び合いにより伸ばす授業の創造～力量ある教師をめざして～」を受けて、中学校の各教科の授業を公開し研究協議を行う。このことにより、本来中学校での教科の授業においては、どのような視点が重要で、授業カリキュラムをどう作成するのかを明らかにしていきたい。また、新しい学習指導要領の完全実施を受けて、どのような授業を実践しているかを報告し協議する。
費 用	参加費はなし
備 考	新年度になり、日程等変更することもありえる。その場合には、本校ホームページにより知らせる。

講座・研修会等名称	東京学芸大学附属竹早幼稚園・小学校・中学校 合同公開研究会
場 所	附属竹早中学校
担 当 者 (所属・連絡先)	渡辺雅之 (附属竹早中学校長)、海老原理徳 (附属竹早小学校長・幼稚園主事)
実施日時	平成 24 年 11 月 17 日 (土)
募集期間	～ 11 月 17 日 (土)
対 象 者	幼稚園・小学校・中学校教員、大学教員、学生、教育関係者
定 員	
主な内容と方法	竹早地区が進めてきた幼小中の連携研究を、今年度は「主体性を育む幼・小・中連携の教育」という研究主題を設定し、連携カリキュラムをまとめ発表する。具体的には、本地区の研究組織のうち、実践研究部会の提案と実践という形で発表する。
費 用	2,000 円 (学生 1,000 円)
備 考	

講座・研修会等名称	竹早地区 算数・数学授業研究会
場 所	附属竹早中学校
担 当 者 (所属・連絡先)	小岩大 (附属竹早中学校)
実施日時	未定
募集期間	未定
対 象 者	算数・数学科教員
定 員	50 人
主な内容と方法	
費 用	
備 考	

講座・研修会等名称	理科授業公開
場 所	東京学芸大学附属高等学校
担 当 者 (所属・連絡先)	田中義洋 (東京学芸大学附属高等学校 地学科) TEL : 03-3421-5151 FAX : 03-3421-5152
実施日時	授業期間中随時
募集期間	平成24年4月6日より随時受け付けます。ご希望日時の1週間前にはご連絡ください。
対 象 者	小・中・高の現職教員、教員志望の大学生・大学院生、教育関係者
定 員	若干名
主な内容と方法	本校で行っている、物理、化学、生物、地学の通常の授業を公開する。ありのままの授業を見ていただいて、意見交換を行う。 本校の理科カリキュラム 1年：生物基礎 (2単位)、地学基礎 (2単位) 2年：物理Ⅰ (2単位)、化学Ⅰ (3単位) 3年：物理Ⅰ (2単位)、物理Ⅱ (4単位) 化学Ⅱ (3単位) 生物Ⅰ (2単位)、生物Ⅱ (4単位) 地学Ⅰ (2単位)、地学Ⅱ (4単位)
費 用	無料
備 考	

講座・研修会等名称	高校国語科における演劇ワークショップ型授業について
場 所	東京学芸大学附属高等学校
担 当 者 (所属・連絡先)	浅田孝紀 (東京学芸大学附属高等学校 国語科) TEL : 03-3421-5151 (代) メール : asadrama@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp
実施日時	未定。6月または11月を予定。
募集期間	平成24年4月6日より随時受け付けます。
対 象 者	小・中・高の現職教員、教員志望の大学生・大学院生、教育関係者
定 員	各回10名程度
主な内容と方法	新高等学校学習指導要領では、言語活動例の一つとして「文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。」が示されていますが、これは31年ぶりの、演劇関係の文言の復活です。この実践に際しては、教員が授業において演劇的活動を導入できるスキルを身につけている方が望ましいと言えます。担当者の授業は、文部科学省の平成23年度「児童生徒のコミュニケーション能力の向上に資する芸術表現体験」に採択され、授業の中にプロの演出家や俳優といったアーティストに各回5名ずつ加わっていただき、演劇ワークショップの手法を用いた授業を実施しました。これを平成24年度も申請しており、採択された場合はその全授業を公開して現職研修講座といたします。採択されなかった場合は、担当者の単独の授業を公開いたします。
費 用	無料
備 考	詳細は5月以降に本校のホームページ上で発表しますので、ご確認ください。なお、ご来校の場合は1週間前くらいまでにご連絡をお願いいたします。

講座・研修会等名称	地理における野外実習の実際
場 所	東京都心部（旧江戸城外濠跡周辺）
担 当 者 （所属・連絡先）	松本 至巨（附属高等学校地理科）
実施日時	2012年6月1日（金）
募集期間	2012年4月1日～5月25日
対 象 者	高等学校教員
定 員	10名
主な内容と方法	1年生対象の「地理実習」に参加する。生徒とともに1日かけて旧江戸城外濠跡周辺を1周しながら、景観観察やスケッチ、断面図の作成、土地利用調査などを行っている様子を見学する。
費 用	なし。ただし、集合場所までの交通費、実習中の交通費（JR運賃150円）および昼食代は自己負担。
備 考	

講座・研修会等名称	理科実験講座～児童生徒の心をつかむ実験授業の実践の工夫～
場 所	東京学芸大学附属高等学校 化学実験室
担 当 者 （所属・連絡先）	東京学芸大学附属高等学校 化学科受付担当：岩藤（いわとう） TEL：03-3421-5151（代表） FAX：03-3421-5152
実施日時	第1回6月9日 午後1時～4時 第2回8月24日 午後1時～4時
募集期間	平成24年4月1日～（定員が一杯になり次第締切ります）ご氏名、ご所属、ご連絡先（電話番号、メールアドレス）、参加希望回をお書きになって、FAXにて上記担当宛にお申し込み下さい。参加証をメールアドレスにお送りいたします。
対 象 者	小学校、中学校、高等学校の教員、教員志望の学生、理科教育関係者など特に若手の先生方対象
定 員	約30名
主な内容と方法	<p>リニューアルした化学実験室の機能をフルに活用した実験講習会です。実験が苦手な小学校の先生、理科の実験授業の指導が苦手な若手の先生、これから教員になろうと考えている学生の方々などが対象の講座です。普段なかなか時間が取れずじっくり考える時間がない皆様、一緒にじっくり考えて行きましょう。</p> <p>理科の授業の中で実験を行う時、多くの子供たちが最も目を輝かせる瞬間です。子供の目の輝きをさらに増し続け子供たちの「科学する心」を伸ばしていくために、実際に参加者全員で実験を体験しながら、実験のコツやポイントを身につけていきましょう。</p> <p>第1回 ①手羽先標本の作り方のポイント ②重曹とクエン酸の化学 骨格標本としてお手頃な、鳥の手羽先標本を参加者全員で作ります。また、重曹とクエン酸を使ったお手軽な実験を通じて、子供たちの心をつかむための工夫について考えていきましょう。</p> <p>第2回 ③分子模型をつくってみよう ④尿素の化学 簡単な分子模型を参加者全員でつくってみましょう。また、尿素を用いてできるお手軽な実験を通じて、子供たちの心をつかむための工夫について一緒に考えていきましょう。</p>
費 用	各回 実費2,000円（テキスト代、材料費 込み）程度を当日集金いたします。
備 考	実験を参加者全員で行いますので、スリッパの他に白衣をご持参下さい。（白衣のない方は申し込み時にお知らせ下さい。レンタル用白衣をこちらで用意いたします）。ご不明な点はお気軽にお問い合わせ下さい。

講座・研修会等名称	第11回公開教育研究大会
場 所	東京学芸大学附属高等学校
担 当 者 (所属・連絡先)	東京学芸大学附属高等学校 研究部 (03-3421-5151・kenkyubu@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp)
実施日時	平成24年6月16日(土) 9:00～16:30
募集期間	準備の都合がございますので、なるべく早めにお申し込みください。
対 象 者	小学校、中学校、高等学校、中等教育学校の教員および教育関係者(学生を含む)
定 員	約200名
主な内容と方法	<p>現代的教育課題に即して大会テーマを設定し、公開授業、研究協議等を行います。  大会テーマ：世界に提案するSULE  ※SULEを一言で言うと、すべての生徒に先端的科学・技術に触れる機会を設け、高度な科学的素養を背景とした国際性豊かで行動力ある人材を育てることにあります。  [SULE=Scientific Universal Logic for Education]</p> <p>9:00～受付  10:00～11:00 全体会  11:30～12:20 公開授業Ⅰ  13:10～14:00 公開授業Ⅱ  14:20～16:30 研究協議</p> <p>※研究協議会では授業に関わる様々な課題について意見交換を行う予定です。</p>
費 用	無料(資料により実費をいただく場合もあります。)
備 考	今後、学校ホームページにて情報を提供させていただきますので、ご確認下さい。 ホームページ <a href="http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/">http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/</a> 共通連絡先 kenkyubu@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp

講座・研修会等名称	夏期特別実験講座物理 体験講習会
場 所	東京学芸大学附属高等学校 物理実験室
担 当 者 (所属・連絡先)	東京学芸大学附属高等学校・物理科(川角・小林) TEL:03-3421-5151(代表) FAX:03-3421-5152
実施日時	平成24年7月14日(土)(予定:変更の可能性あり、詳細はご確認ください) 9時～16時
募集期間	定員になり次第締め切ります。
対 象 者	小学校～大学等の理科教育関係者(ただし、大学初年度程度の物理学の理解を要します)
定 員	20名程度
主な内容と方法	<p>本校物理科で毎年実施している3年物理選択者対象の夏期特別実験講座を体験していただきます。マイケルソンの干渉計、プランク定数の測定、ミリカンの実験、フランクヘルツの実験など通常の授業ではできない実験を中心に、一日中実験、分析をします。</p> <p>集合:8時50分</p> <p>お申し込みいただいた方には詳しくご案内致します。  ※実際にご参加いただき、意見交換をします。  ※特別講座テキストなど資料は差し上げます。</p>
費 用	特に必要としませんが、材料費などがかかる場合はその実費。
備 考	今後適時学校ホームページにて情報を提供させていただきますので、ご確認下さい。 ホームページ <a href="http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/">http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp</a> 電子メール kenkyubu@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp 共通連絡先 kenkyubu@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp



講座・研修会等名称	情報教育公開研究大会
場 所	東京学芸大学附属高等学校
担 当 者 (所属・連絡先)	森棟隆一 (東京学芸大学附属高等学校 情報科) TEL : 03-3421-5151 FAX : 03-3421-5152
実施日時	平成24年 10月1日 (月)
募集期間	開催前週の9月28日 (金) までにお申し込みください。
対 象 者	小・中・高の現職教員、教員志望の大学生・大学院生、教育関係者
定 員	100名
主な内容と方法	本校で行っている、情報教育の授業 (必ずしも、教科「情報」の授業とは限りません) を公開する。あわせて、研究協議会および講演を行う。
費 用	無料
備 考	詳細については、本校のホームページに順次掲載しますので、ご参照ください。

講座・研修会等名称	高校国語科における演劇指導の意義を考える (仮題)
場 所	東京学芸大学附属高等学校
担 当 者 (所属・連絡先)	浅田孝紀 (東京学芸大学附属高等学校 国語科) TEL : 03-3421-5151 FAX : 03-3421-5152
実施日時	平成24年 10月26日
募集期間	平成24年 4月6日より随時受け付けます。
対 象 者	小・中・高の現職教員、教員志望の大学生・大学院生、教育関係者
定 員	50名程度
主な内容と方法	本校国語科では、1年生で現代劇鑑賞、2年生で古典劇鑑賞という教科行事を伝統的に行っている。新高等学校学習指導要領では、言語活動例の一つとして「文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。」が示されているが、これは31年ぶりの、演劇関係の文言の復活である。しかし、例えばこれを実践するにしても、生徒が実際の演劇の公演を観ることを経験していなければ有効な学習は期待しにくい。また教員側は指導のためにも、現在高校の教科書から消えてしまっている戯曲教材の扱い方や、演劇に関するある程度のリテラシーも備えておきたい。そういった問題意識から、本年度は現代劇鑑賞を生徒・教員と一緒に観ていただくことを前提に、その事前の研修にご参加いただき、教員側の構え方について考察を深めていきたい。
費 用	未定。演目によっては無料ですが、5,000円程度かかる場合もあります。
備 考	

講座・研修会等名称	地学科公開研究会 野外観察講座
場 所	城ヶ島（神奈川県）
担 当 者 (所属・連絡先)	東京学芸大学附属高等学校・地学科（田中・齋藤） TEL：03-3421-5151（代表） FAX：03-3421-5152
実施日時	平成24年10月31日（水）9時30分～15時30分（現地）
募集期間	定員になり次第締め切ります。
対 象 者	小学校～高等学校の理科教員
定 員	約4名
主な内容と方法	本校地学科では、1年の理科の地学分野の授業の一環として、毎年、神奈川県三浦半島の先端にある、城ヶ島で地層観察の野外実習を行っています。今回、この野外実習を直接ご覧頂いたり、生徒に混じってその一部を体験していただいたりする企画を計画しました。実習に参加していただくのは、1グループ（4名）とさせていただきます。お早めにお申し込み下さい。集合：9時30分（現地）お申し込みいただいた方には詳しくご案内致します。 ※実際にご参加いただき、意見交換をしたいと思っています。
費 用	特に必要としませんが、材料費などがかかる場合はその実費。
備 考	今後適時学校ホームページにて情報を提供させていただきますので、ご確認下さい。 ホームページ <a href="http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/">http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/</a> 共通連絡先 <a href="mailto:kenkyubu@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp">kenkyubu@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp</a>

講座・研修会等名称	高校国語科における演劇の鑑賞指導について
場 所	東京学芸大学附属高等学校
担 当 者 (所属・連絡先)	浅田孝紀（東京学芸大学附属高等学校 国語科） TEL：03-3421-5151（代） メール：asadrama@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp
実施日時	平成24年12月17日
募集期間	平成24年4月6日より随時受け付けます。
対 象 者	小・中・高の現職教員、教員志望の大学生・大学院生、教育関係者
定 員	40名程度
主な内容と方法	本校国語科では、1年生で現代劇鑑賞、2年生で古典劇鑑賞という教科行事を伝統的に行っています。新高等学校学習指導要領では、言語活動例の一つとして「文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。」が示されていますが、これは31年ぶりの、演劇関係の文言の復活です。ただし、例えばこれを実践する場合、生徒が実際の演劇の公演を観ることも経験している方が望ましいと言えます。また教員側は指導のためにも、現在高校の教科書から消えてしまっている戯曲教材の扱い方や、演劇に関するある程度のリテラシーも、備えておきたいところです。そういった問題意識から、本講座では現代劇鑑賞を生徒・教員と一緒に観ていただくことを前提に、その事前の研修にご参加いただき、教員側の構え方について考察を深めていくものとしたいと、思います。なお、本校の「現代劇鑑賞」は校内での公演は行わず、必ず外部の劇場で可能な限り一般のお客様と一緒に観劇を行っております。その点もご承知おきください。予定としては、①公演当日に校内または劇場内で事前研修、②実際の公演の見学、の二本立てとなります。
費 用	観劇料として5,000円程度（現在は未定で11月以降決定します）
備 考	座席予約の都合により、10月末日までに上記アドレスにメールでお申し込みください。また、研修開始時刻、演目、公演会場、集合場所等の詳細については、11月に入ってから、当方よりメールでお知らせいたします。公演は午後の日中になりますので、午前中から夕方までを確保しておいてください。

講座・研修会等名称	国立科学博物館・科学関係研究施設見学実習
場 所	国立科学博物館、及び臨床医学総合研究所、東芝科学館他14力所の施設
担 当 者 (所属・連絡先)	東京学芸大学附属高等学校・生物科(浅羽 宏 小境久美子) TEL:03-3421-5151 FAX:03-3421-5152
実施日時	平成25年2月5日(火) 午前9時～午後4時
募集期間	平成24年4月8日～平成24年11月30日
対 象 者	小学校～高等学校の理科関係教員
定 員	約15名
主な内容と方法	<p>本校では1年生の全員を対象に、1年間の理科学習のまとめとして、科学博物館の見学と東京近辺の大学や研究施設の見学実習を実施しています。</p> <p>午前中の国立科学博物館では、進化、系統、形態、生態などに関する学習を行ない、課題に沿ってのまとめやスケッチなどを行ないます。</p> <p>午後は各自の希望に従って都内及び近辺の科学関連研究施設や大学などに分かれ、先端の科学研究の雰囲気に触れて、研究者の方々から直接にお話を伺ったり、質疑応答などを行ないます。この実習により、生物学的な学習の深化はもとより、進路決定や将来の生き方などについての示唆を受けたり、それについて考えるきっかけが与えられる、広い意味でのキャリアガイダンスとしての役割をも期待しています。</p> <p>時程は以下の通り</p> <p>9:00-12:00 国立科学博物館での見学実習 12:00-13:00 午後の見学場所へ各自で移動 13:00-16:00 各見学場所での見学と質疑応答など</p>
費 用	交通費、科学博物館入館料(600)。生徒用実習帳は実費でお分けします。
備 考	ホームページ <a href="http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/">http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/</a> 共通連絡先 <a href="mailto:asabahir@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp">asabahir@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp</a>